

研修のお申込み

定員30名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せてFAXまたは郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.npo-jam.org/rirekisho/>

応募締切は 2020年1月21日(火)必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を1月24日までにメール(またはFAX)にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。

お問い合わせ・お申込みは……

特定非営利活動法人
メンタルケア協会
Japanese Association of Mental Health Services

東京都渋谷区代々木 1-57-4 ドルミ第2代々木 2階
TEL: 03 (5333) 6446 FAX: 03 (5333) 6445

東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2020年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～」を平成22年4月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員(非常勤)を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、令和2(2020)年度から電話相談員(非常勤)として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2020(令和2)年度に相談員(非常勤)として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎修了証の発行

必修項目を含む8単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します

全理連ビル(代々木) 9F 会議室

東京都渋谷区代々木 1-36-4

- 代々木駅北口 徒歩1分
(1Fがマクドナルドのビルです)

TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスホール6A/ルーム6B

東京都新宿区西新宿 1-14-11 Daiwa西新宿ビル6階

- 新宿駅西口 徒歩10分
(1Fが docomo ショップ新宿西口のビルです)

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人メンタルケア協会

参加登録制
定員 30名
参加費不要

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前 _____ 年齢 _____ 歳 性別 男 ・ 女

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを ※携帯アドレスはご遠慮ください。) _____ @ _____

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール(および添付ファイル)でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2020年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※勤務時間帯は [A]13:30～18:30、[B]18:00～22:30、[C]22:00～翌6:00または4:30です。

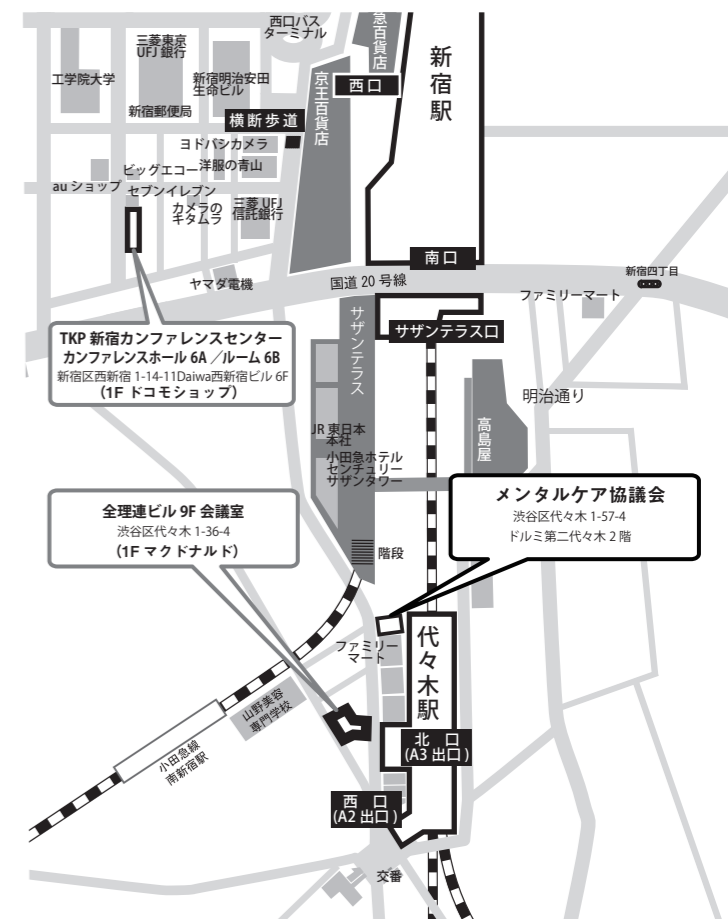
履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修(および受講日)

■現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただきます、受講票に記載してお知らせいたします。

	研修内容	実施日/場所	時	必修	参加	単位
講義	①「コミュニケーションがとりにくい方」の対象理解を進める	1/26(日) 全理連ビル 9F BC室	12:00～18:00	必修	可・不可	1
	②臨床の現状と相談に役立つアプローチ～加害者とその家族の理解と支援～	2/2(日) 全理連ビル 9F BC室	12:00～18:00	必修	可・不可	1
	③依存症との向き合い方	2/9(日) TKP新宿カンファレンスセンターホール6A	12:00～18:00	必修	可・不可	1
グループロールプレイ	①自殺リスクアセスメントと自殺に関連する相談	2/23(日) 全理連ビル 9F BC室 2/29(土) TKP新宿カンファレンスセンタールーム6B	12:00～18:00	必修	可・不可	1
	②他機関へ繋ぐ	3/20(金) TKP新宿カンファレンスセンタールーム6B	12:00～18:00	必修	可・不可	1
	③相談を受けとめる	3/22(日) 全理連ビル 9F BC室	12:00～18:30	必修	可・不可	1
現場研修	①東京夜間こころの電話相談	2/8(土)・2/10(月)・2/13(木)・2/14(金) 2/25(火)・3/1(日)・3/2(月)・3/4(水) 相談室	18:00～21:00	必修	可・不可	1
	②精神科救急医療情報センター	2/12(水)・3/5(木)・3/8(日) 3/15(日)・3/21(土) 相談室	18:00～21:00	選択	希望する	1
	③訪問看護ステーション	2/18(火)・2/20(木)・3/12(木)・3/17(火) ステーション訪問対象者宅	9:00～15:00	選択	希望する	1
	④東京ダルク	2/4(火)・2/5(木)・2/6(木)・2/19(水) 東京ダルク	水 13:00-15:30 他 10:00-12:00	選択	希望する	1



研修日程

研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師			
I. 基礎知識 習得のための 講義	①「コミュニケーションがとりにくい方」 の対象理解を進める	1/26 (日) 全理連ビル 9階 BC室	12:00 - 12:30	開講式	羽藤 邦利			
			12:30 - 14:50	講義 1 ソーシャルメディアのコミュニケーションの特徴 質疑応答	鳥海 不二夫			
			15:00 - 18:00	講義 2 ひきこもりの理解と支援 質疑応答	羽藤 邦利			
	②臨床の現状と 相談に役立つアプローチ ～加害者とその家族の理解と支援～	2/2 (日) 全理連ビル 9階 BC室	12:00 - 14:30	12:00 - 14:30	講義 1 非行・犯罪臨床から 質疑応答	原田 隆之		
				14:30 - 18:00	講義 2 加害者家族への危機介入―捜査段階の支援	阿部 恭子		
					講義 3 加害者家族と情状鑑定―公判段階の支援 質疑応答	相澤 雅彦		
	③依存症との向き合い方	2/9 (日) TKP 新宿カンファレンスセンター ホール6A	12:00 - 14:30	12:00 - 14:30	講義 1 依存症の理解と治療(仮) 質疑応答	成瀬 暢也		
				14:30 - 17:00	講義 2 ハームリダクションについて 質疑応答	古藤 吾郎		
					17:00 - 18:00	講義 3 中部総合精神保健福祉センターの 薬物依存などの相談について 質疑応答	工藤 博英	
II. グループ ロール プレイ	①自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/23 (日) 全理連ビル 9階 BC室 2/29 (土) TKP新宿カンファレンスセンター6B	12:00 - 18:00	※ のどちらか一日に参加	特任相談員 西村・大神 西森・大久保 高橋(美)			
					②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/20 (金・祝) TKP新宿カンファレンスセンター6B	12:00 - 18:00	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
								③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)
①は必須、 ②～④は 選択	②東京都精神科救急医療 情報センター	2/12(水)・3/5(木)・3/8(日) 3/15(日)・3/21(土)	18:00 - 21:00	救急相談員 西村・永島 山城				
					③多摩在宅支援センター卵 (訪問看護ステーション)	2/18(火)・2/20(木) 3/12(木)・3/17(火)	9:00 - 15:00	寺田 悦子 他
④東京ダルク	2/4(火)・2/5(水) 2/6(木)・2/19(水)	水曜日 13:00 - 15:30 他 10:00 - 12:00	ダルクの活動について(レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加) ※日程確定後のキャンセルは原則不可です。	幸田 実 他				
					⑤自殺相談ダイヤル	3月下旬(全4回)	13:00 - 19:00	※次年度採用予定の方のみ。

※現場研修の研修場所については、1/26に資料を配布いたします。

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 令和元年度 (2020.1～3月)

講師・団体紹介 (50音順)

相澤 雅彦 (あいざわ・まさひこ)
特定非営利活動法人 WorldOpenHeart 臨床心理士 / ソリューションフォーカスト・アプローチを中心に個別及び集団心理療法や不適応行動の改善プログラムに取り組む。刑事施設内処遇カウンセラー、公立学校スクールカウンセラー、大学生学生相談カウンセラーとして活動している。著作『加害者家族支援の理論と実践―家族の回復と加害者の更生に向けて―』、『性犯罪加害者家族のケアと人権―尊厳の回復と個人の幸福を目指して―』、『加害者家族の子どもたちの現状と支援―犯罪に巻き込まれた子どもたちへのアプローチ―』(いずれも分担執筆)。

阿部 恭子 (あべ・きょうこ)
特定非営利活動法人 WorldOpenHeart 理事長 / 東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)。2008年大学院在学中、任意団体 WorldOpenHeart を設立し、2011年法人格取得。現在、NPO 法人 WorldOpenHeart 理事長。日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援活動を行う。著書『息子が人を殺しました―加害者家族の真実―』(幻冬舎新書、2017)。

荒井 澄子 (あらい・すみこ)
メンタルケア協議会理事 / 元南多摩保健所 / 東京都に 39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

大下 隆司 (おおしも・たかし)
メンタルケア協議会副理事長 / 代々木の森診療所院長 / 神戸国際大学保健センター特命教授 / 東京女子医科大学児童思春期外来非常勤講師 / 医学博士 / 神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学医学部付属病院、都立墨東病院、明石土山病院、兵庫県中央児童相談所、東京女子医科大学病院に勤務。H24年4月より代々木の森診療所院長。

國吉 淨子 (くによし・きよこ)
メンタルケア協議会理事 / 元都立中部総合精神保健福祉センター / S52～東京都勤務。松沢病院、多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

幸田 実 (こうだ・みのる)
東京ダルク・ダルクホーム施設長 / ダルクは薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクスアノニマス(NA)の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

工藤 博英 (くどう・ひろひで)
東京都立中部総合精神保健福祉センター 広報援助課課長代理 / 看護師

古藤 吾郎 (ことう・ごろう)
ソーシャルワーク 修士 (MSW) / 精神保健福祉士 / 受刑中の薬物事犯者への通信プログラム、ドラッグ・ユーザー/ダルク入所者等への C 型肝炎、HIV / エイズの感染症ワークショップ、ドラッグ OK トーク、調査・研究、薬物使用に係るソーシャルワーク、ハームリダクション、DV 加害者教育、移民(移住労働者)支援、日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長

寺田 悦子 (てらだ・えつこ)
NPO 法人多摩在宅支援センター円(えん) 理事長 / 当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」

を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに応えているのが特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション卵、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

鳥海 不二夫 (とりうみ・ふじお)
東京大学大学院工学系研究科准教授 / 2004年、東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻博士課程修了。博士(工学)。同年名古屋大学情報科学研究科助手を務め、2007年同助教。2012年より東京大学大学院工学系研究科准教授。エージェントベースシミュレーション、人工市場、ソーシャルメディア、計算社会科学、ゲームにおける AI などの研究に従事。人狼知能プロジェクト代表。電子情報通信学会、人工知能学会、日本社会情報学会の会員。

内藤 武 (ないとう・たけし)
メンタルケア協議会理事 / 元立教大学学生相談所インテーカー / 「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中 (H3年～H4年)「Samaritans (自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

成瀬 暢也 (なるせ・のぶや)
精神科医 / 昭和61年3月順天堂大学医学部卒業。4月同大精神神経科入局。大病院などで研修医として勤務。同大助手を経て、平成2年4月埼玉県立精神保健総合センター開設と同時に勤務。平成7年4月同センター依存症病棟に配属。平成14年4月同センター組織改変にともない、埼玉県立精神医療センターと埼玉県立精神保健福祉センターとなる。平成20年10月より埼玉県立精神医療センター副病院長(兼埼玉県立精神保健福祉センター副センター長)。専門分野は薬物依存症・アルコール依存症、中毒性精神病の臨床

西村 由紀 (にしむら・ゆき)
メンタルケア協議会理事 / メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

羽藤 邦利 (はとう・くにとし)
メンタルケア協議会理事長 / S42 京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58 代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

原田 隆之 (はらだ・たかゆき)
筑波大学人間系心理学域教授 / 一橋大学社会学部卒業。同大学院社会学研究科博士前期課程、カリフォルニア州立大学心理学研究科修士課程修了。東京大学大学院医学系研究科で PhD 取得。法務省、国連薬物犯罪事務所(ウィーン本部)、目白大学人間学部教授等を経て、筑波大学人間系心理学域教授、東京大学大学院医学系研究科客員研究員。専門は、臨床心理学、犯罪心理学。著書に「犯罪行動の心理学」(北大路書房)、「心理職のためのエビデンス・ベイスト・プラクティス」(金剛出版)、「公認心理師のための基礎科目講義」(北大路書房)、「入門犯罪心理学」(痴漢外来：性犯罪と闘う科学)「サイコパスの真実」(ちくま新書)などがある。

メンタルケア協議会特任相談員
大神那智子 / **西森優実子** / **大久保佳幸** / **高橋美恵子**
永島章子 / **山城久典**